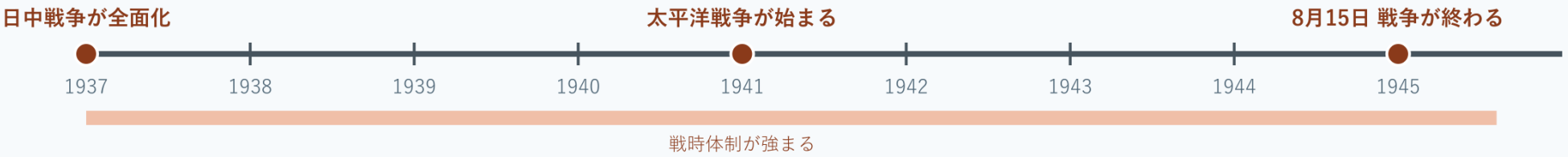
戦争と人々のくらし

戦争が広がるにつれて、人々のくらしはどう変わったか



物資が足りなくなる

米や衣料などが
配給制になる
（切符で決まった量）

国のために動員される

なべやかねなどの
金属が集められる
中学生や女学生も工場で働く

子どもの集団疎開

空襲をさけるため、
都市の子どもが
地方へ集団で移る（1944年〜）

空襲と原子爆弾

各地の都市が空襲を受ける
沖縄戦（1945年）
8月6日広島・9日長崎に原子爆弾

国民が受けた被害

多くの人が戦場や空襲などで命を失い、家や家族を失った。

戦争が終わったあとも、苦しい生活が続いた。

アジアの国々との関わり

この戦争で、日本はアジアの国々をはじめ多くの国の人々に大きな損害を与えた。

被害を受けた人の姿や写真は使っていない（個人を描かない）。年は教科書で一般的な表し方。